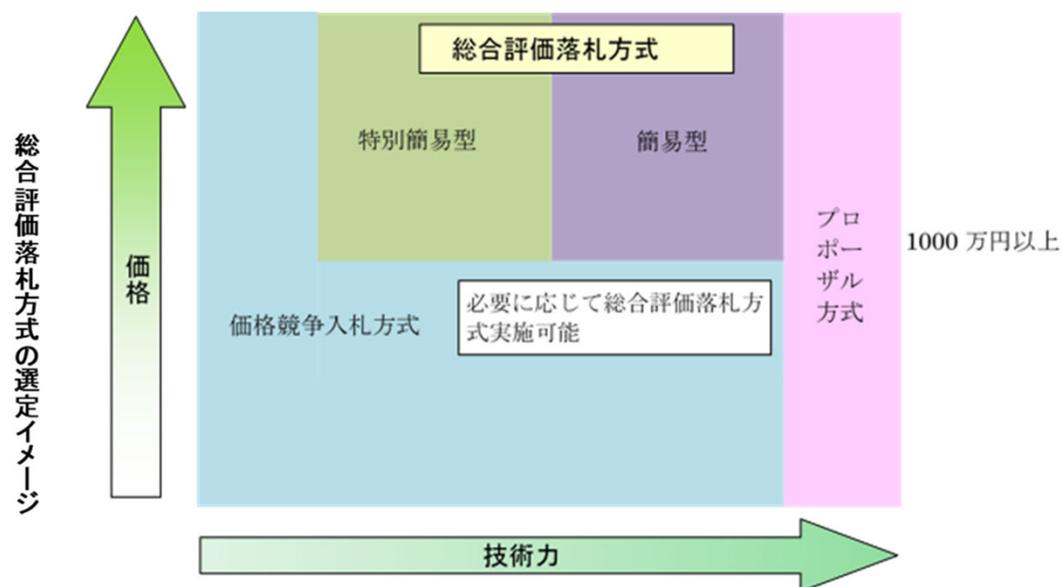


令和5年度 建設コンサルタント業務委託 総合評価実施結果

令和6年9月25日
山梨県総合評価委員会

令和5年度の総合評価実施方針(建設コンサルタント業務) 令和4年度第2回総合評価委員会で決定

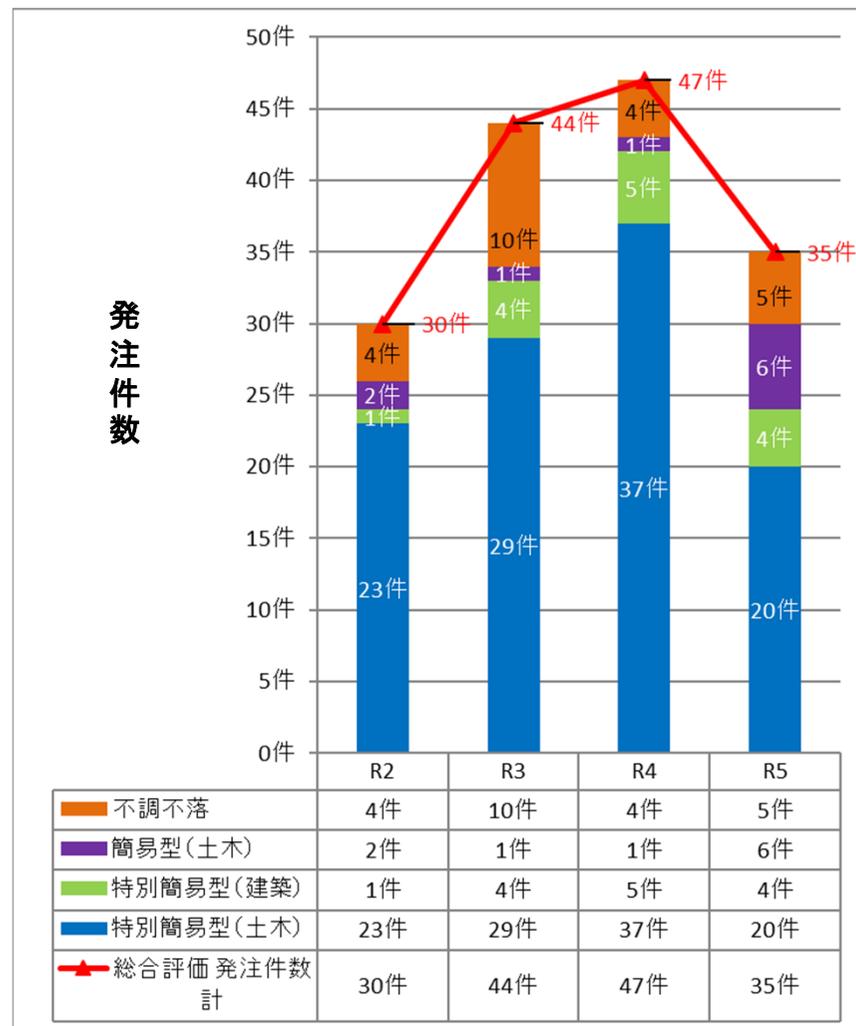
1. 県土整備部が発注する1千万円以上の建設コンサルタント業務について試行する
2. 技術等の工夫の余地があり当該業務の実施方針を求めることや資格・実績等を評価することにより、品質向上を図ることが期待される業務
3. 試行件数は、各建設事務所及び支所、営繕課ごとに5件程度、特設事務所を含め全体で40件(土木35件、建築5件)程度とする。
4. 総合評価落札方式の型式については、実施方針、実績等を評価する簡易型と実績等のみを評価する特別簡易型の2種類とする。
5. 低入札価格調査制度を導入し、ダンピング受注の防止を図る。
6. 試行する業務については、一般競争入札を導入する。
7. 意見聴取は工事にあわせ、毎週木曜午後2時から防災新館で実施、木曜日が祝祭日の場合は、前後に実施する。
8. 令和6年度第1回山梨県総合評価委員会開催を9月、第2回委員会開催を3月に予定する。



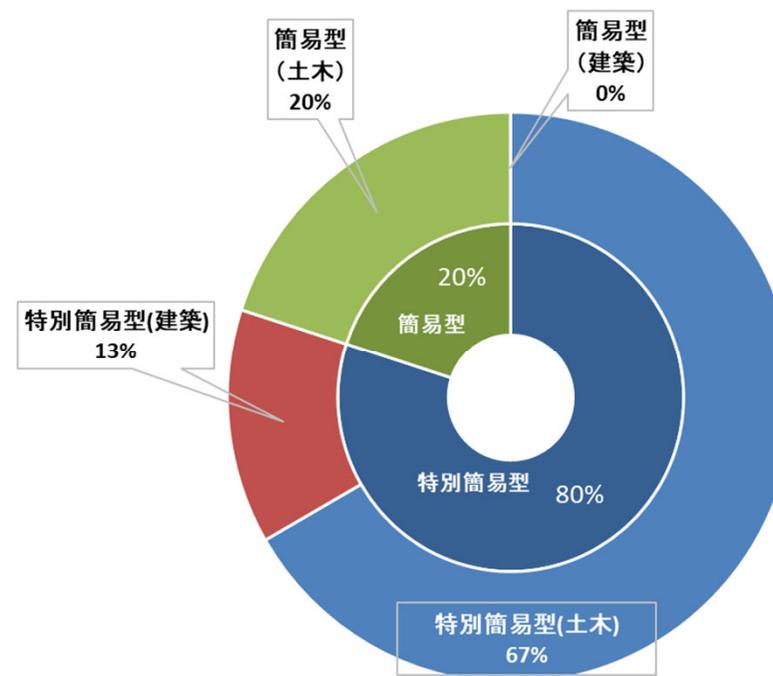
- 総合評価落札方式(簡易型)
技術等の工夫の余地があり当該業務の実施方針を
求めることにより、品質向上を図ることが期待される業務
- 総合評価落札方式(特別簡易型)
技術等の工夫の余地が比較的小さく、資格・実績等のみ
を評価することにより、品質向上を図ることが出来る業務

令和5年度実施結果

1. 総合評価落札方式を適用し契約した案件は、県土整備部で発注する建設コンサルタント業務 **35件**
2. 型別の件数・割合内訳は、特別簡易型 **24件(80%)**、簡易型 **6件(20%)**



R5(実績) 総合評価実施状況(型別)



※R6. 9月1日時点

※R2. 8月以降に公告する建設コンサルタント業務から試行を開始(県土整備部のみ)

令和5年度実施結果

1. 業種・部門別では建設コンサルタント業(道路部門)が11件/全30件(約37%)と最も多く占める。
2. 次に、建設コンサルタント業(河川、砂防及び海岸部門)が8件/全30件(約27%)と多く、R4年度と同様の傾向。

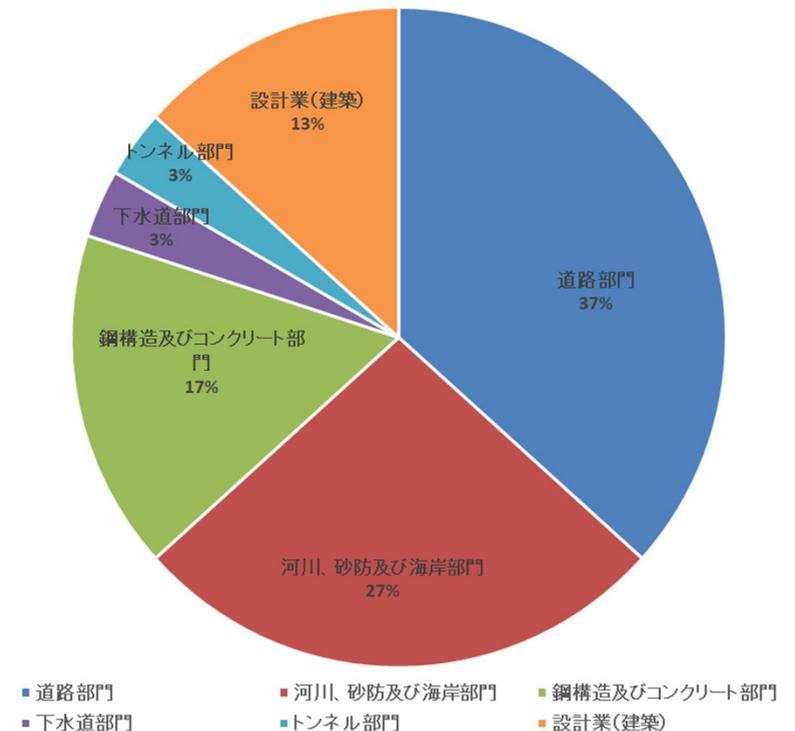
R5(実績)

業種・部門別	特別簡易型 (土木)	簡易型 (土木)	合計	割合
道路部門	8	3	11	36.7%
河川、砂防及び海岸部門	5	3	8	26.7%
鋼構造及びコンクリート部門	5	0	5	16.7%
下水道部門	1	0	1	3.3%
トンネル部門	1	0	1	3.3%
設計業(建築)	4	0	4	13.3%
合計(件数)	24	6	30	
割合	78%	22%	100%	100%

※R6. 9月1日時点

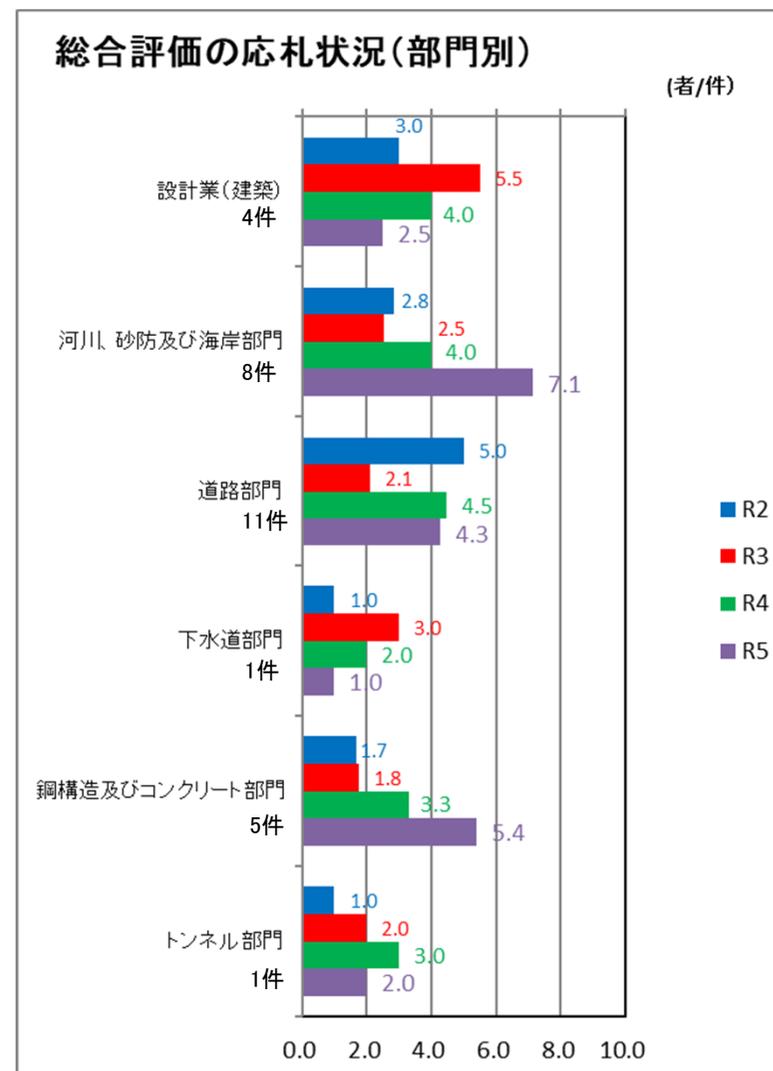
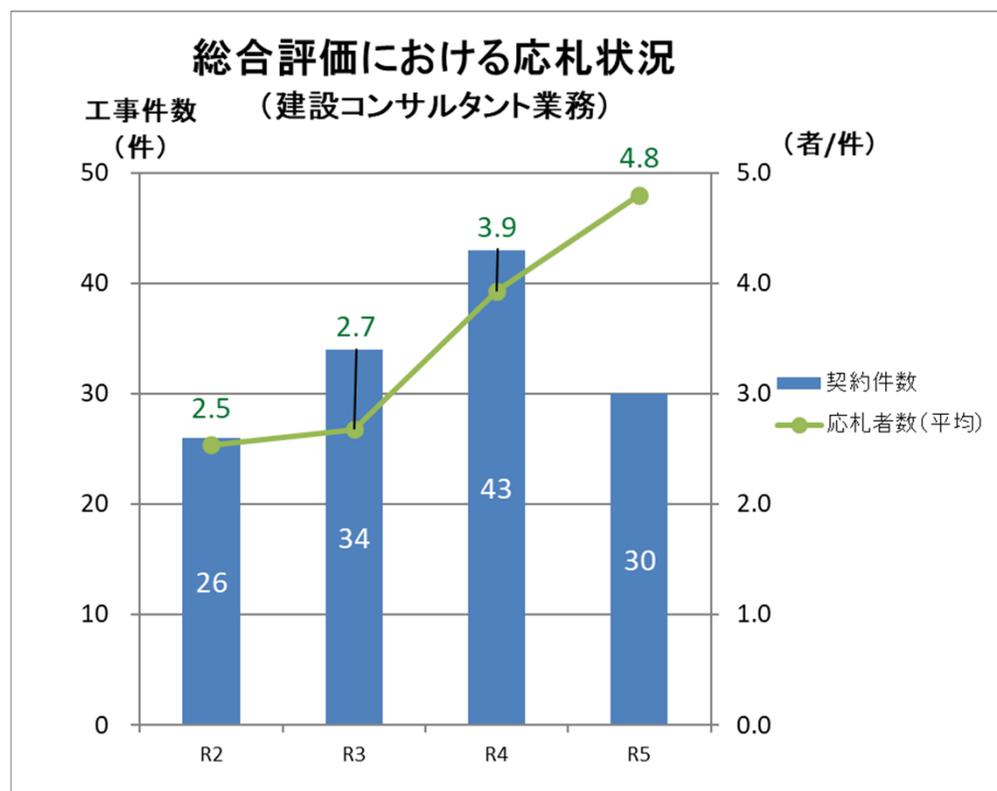
※県土整備部で発注する建設コンサルタント業務を対象

R5(実績)総合評価実施状況(業種・部門別)



令和5年度実施結果

1. 平均応札者数は**4.8者** R4年度**3.9者**と比べ、**0.9ポイント**増加
2. 業種部門別では、河川・砂防および海岸部門で**7.1者**と応札者が多い。R4年度と比べ約**1.8倍**に増えている。
3. 低入札価格調査に該当する案件は、発生していない。

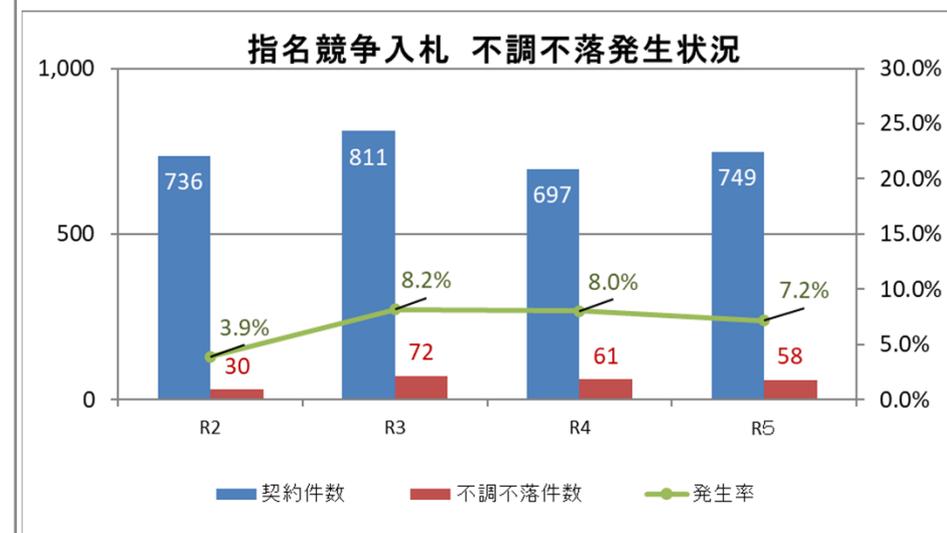
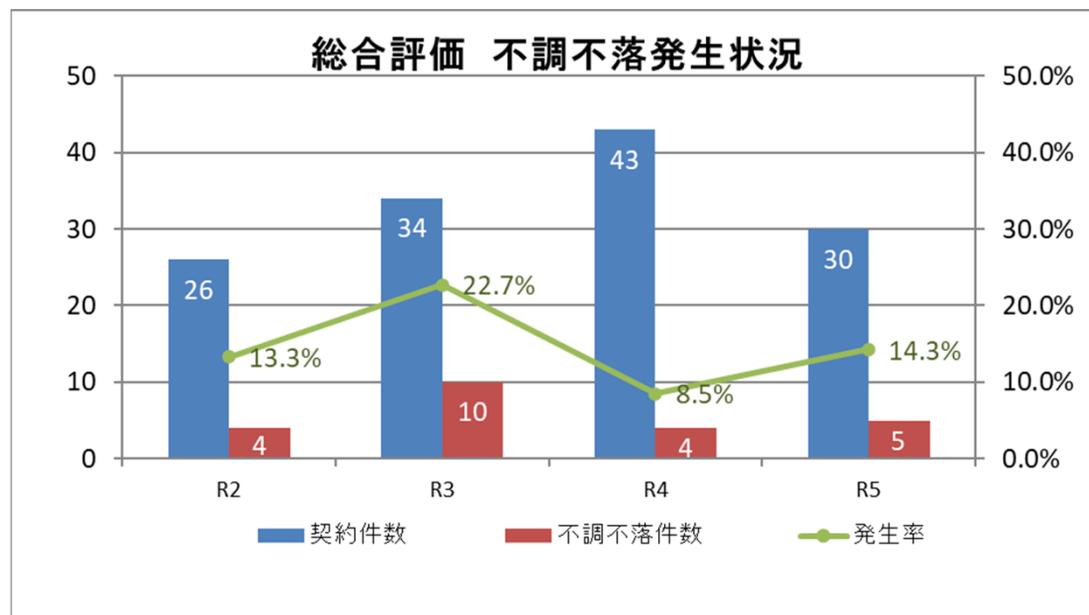


※R6. 9月1日時点

※県土整備部で発注する建設コンサルタント業務を対象

令和5年度実施結果

1. 不調・不落の発生率は、**14.3%** R4年度の**8.5%**と比べ、**5.8ポイント**増加
2. 指名競争入札における不調不落発生率よりも総合評価のほうが高い傾向



※R6. 9月1日時点

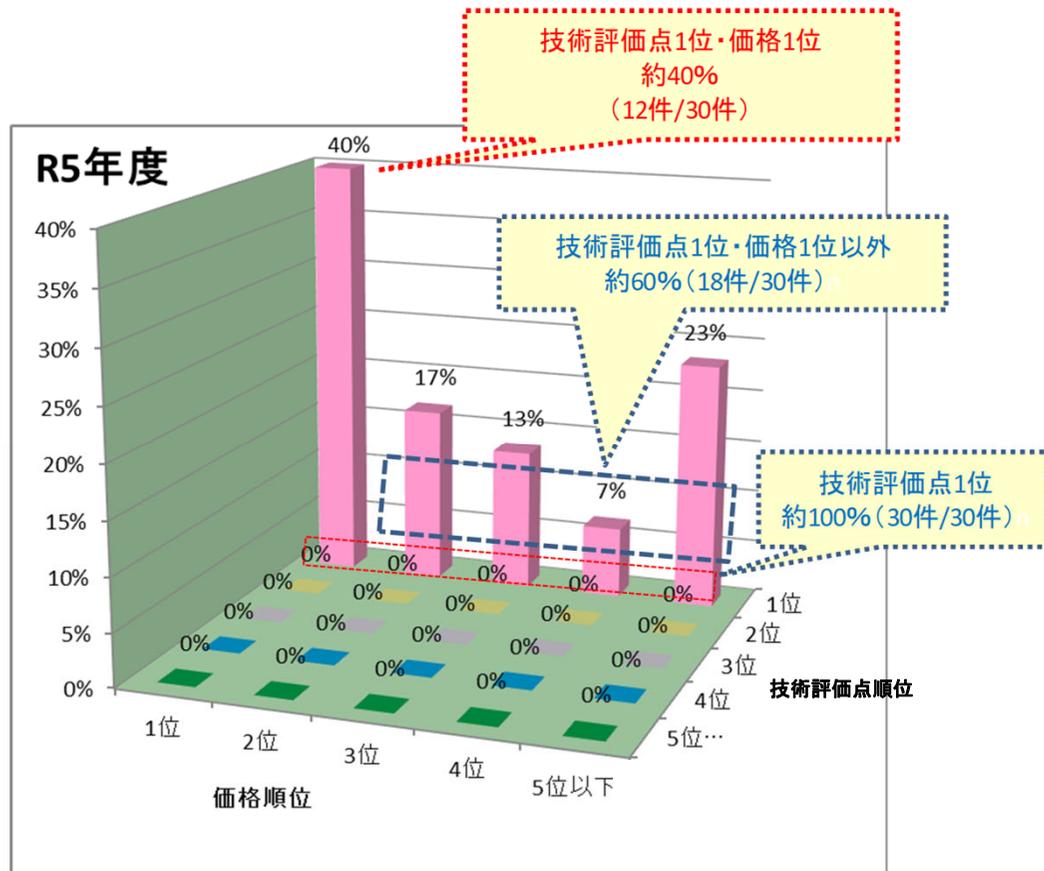
※県土整備部で発注する建設コンサルタント業務を対象

※不調とは応札者がいない(入札参加者不在も含む)こと。不落とは、応札者はいたが予定価格超過等により落札者が決まらないこと。

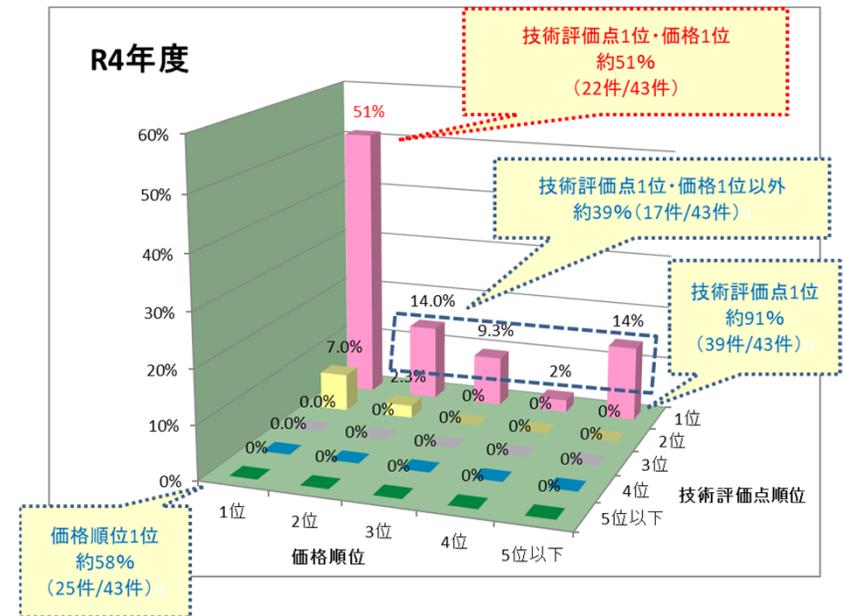
令和5年度実施結果

1. 全契約件数30件のうち、技術評価点1位者が落札者となる割合は約**100%**(30件)、R4年度の**91%**に比べ**9%**増
2. 技術評価点順位1位かつ価格順位1位の者が落札者となる割合は、**40%**(12件)R4年度**51%**と比べて**11%**減
3. 技術評価点1位者が価格順位で1位でなくても約**60%**(18件)が落札、R4年度**39%**と比べて**21%**増

落札者の状況(技術評価点・価格順位からみた落札者の状況)



(参考)



※R6. 9月1日時点

※県土整備部で発注する建設コンサルタント業務を対象

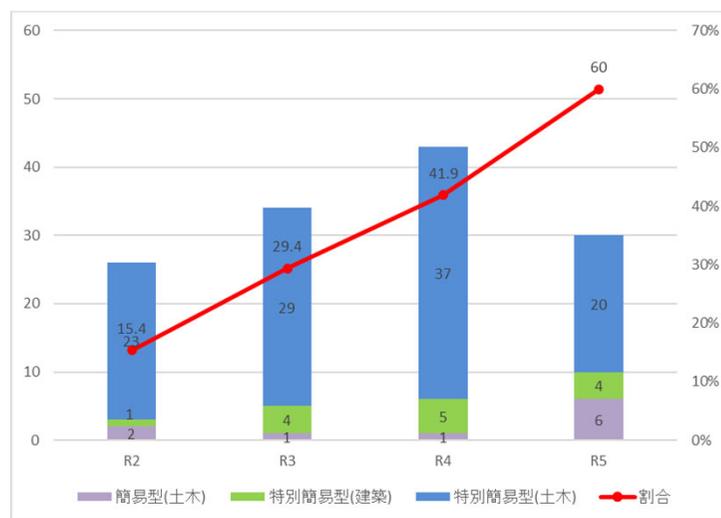
落札者の状況（最低価格者以外が落札した割合）

令和5年度実施結果

1. 総合評価落札方式で発注した30件のうち18件（60.0%）で最低価格者以外が落札
2. 最低価格者以外（技術評価点上位者）が落札する割合が、年々増加しているが、成績評定点に有意な変化は見られない状況

落札者の状況（最低価格者以外が落札した割合）

	R2年度			R3年度			R4年度			R5年度		
	発注件数	最低価格者以外の落札	左記の割合	発注件数	最低価格者以外の落札	左記の割合	発注件数	最低価格者以外の落札	左記の割合	発注件数	最低価格者以外の落札	左記の割合
特別簡易型（土木）	23件	4件	17.4%	29件	6件	20.7%	37件	16件	43.2%	20件	12件	60.0%
特別簡易型（建築）	1件	0件	0.0%	4件	4件	100.0%	5件	2件	40.0%	4件	2件	50.0%
簡易型（土木）	2件	0件	0.0%	1件	0件	0.0%	1件	0件	0.0%	6件	4件	66.7%
計	26件	4件	15.4%	34件	10件	29.4%	43件	18件	41.9%	30件	18件	60.0%

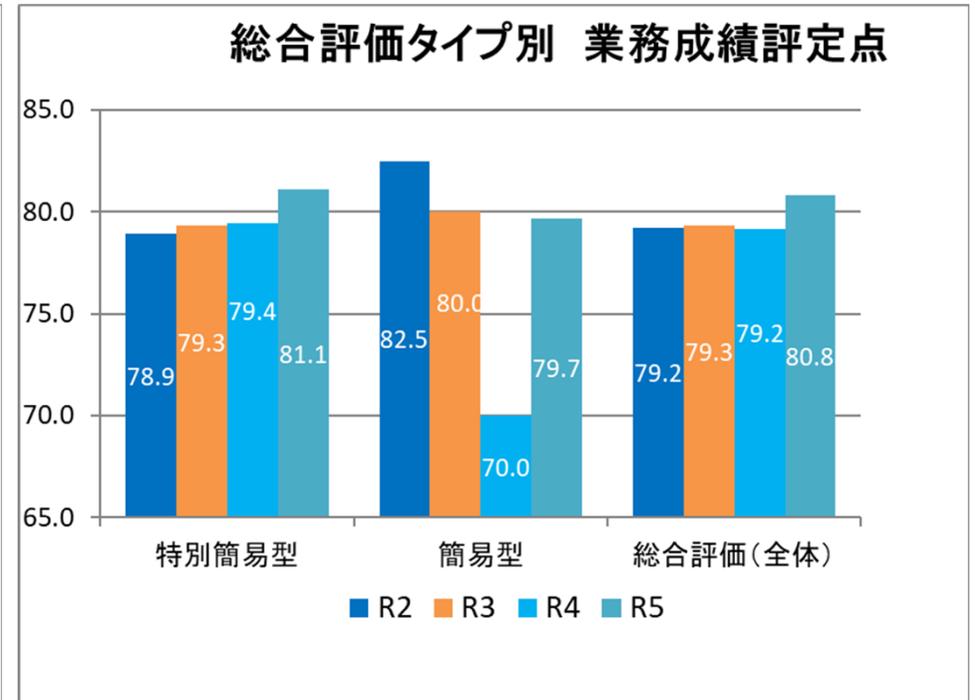
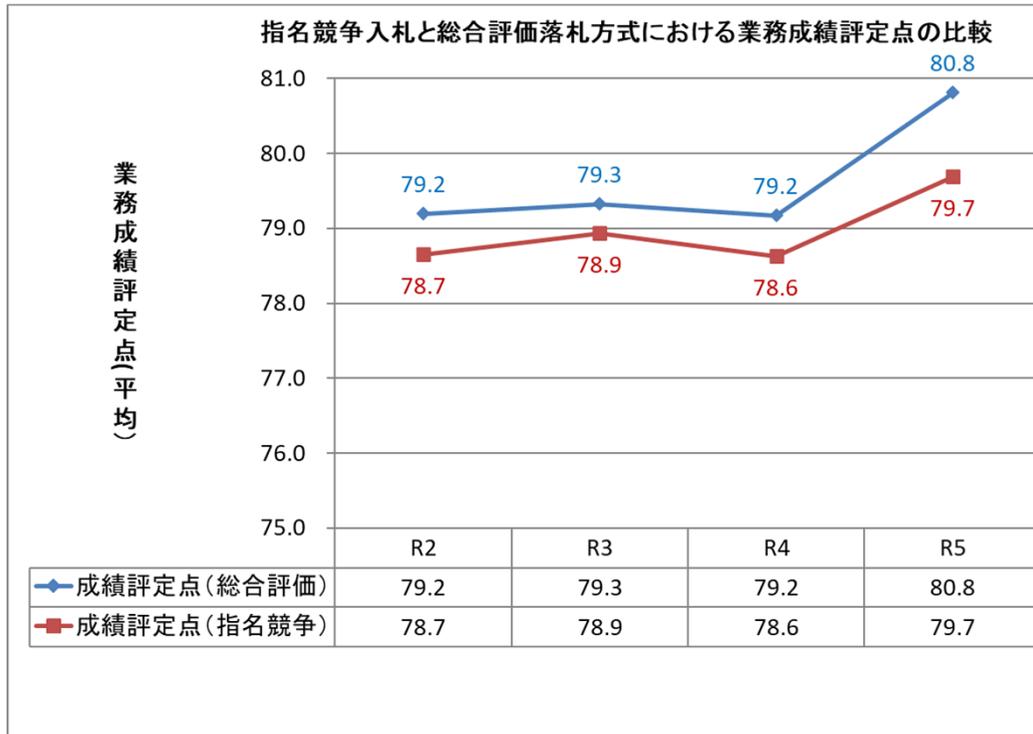


※R6. 9月1日時点

※県土整備部で発注する建設コンサルタント業務を対象

令和5年度実施結果

1. 総合評価の業務成績評定点(平均)は、**80.8点** R4年度の79.2点と比べ、**1.6ポイント**増加
2. 指名競争入札の業務成績評定点(平均)**79.7点**とほぼ同等



	R2		R3		R4		R5	
	総合評価	指名競争	総合評価	指名競争	総合評価	指名競争	総合評価	指名競争
最高点	84	91	84	87	82	89	84	89
最低点	74	66	74	61	65	64	77	66
完了件数	26	706	34	778	20	403	16	495
完了割合	100%	100%	100%	100%	47%	61%	53%	69%
件数 計	732		812		423		511	
施工中件数	0	0	0	0	23	270	14	226
施工中割合	0%	0%	0%	0%	53%	39%	47%	31%
件数 計	0		0		293		240	

「委託業務成績評定要領」を令和5年度に大きく見直し、評定項目を細分化したことにより、業務特性に相応した、企業の技術力が、よりの確に評価されるようになったことから、総合評価の効果がこの新たな成績評定にどのように反映されるか相関の検証を実施するため、試行を継続している。